

臨時農業生産情報

(冬期間の暴風雪及び大雪に対する技術対策)

令和6年11月28日
青森県「農林水産力」強化本部

県内では、これから本格的な降雪期を迎えますので、日頃から暴風雪や大雪に関する気象情報に注意し、次の対策の実施により、被害の未然防止と軽減に努めてください。

【事前対策】

1 りんご等果樹

- (1) 苗木や幼木では、主幹や枝をひもなどで支柱にきつく結束する。
- (2) わい性台樹では、枝の中央部からやや先を枝先が上向きになる程度まで吊り上げる。不要な下枝などは剪去する。
- (3) 普通台樹の成木では、雪害を受けそうな枝に支柱を入れるとともに、不要な枝を大枝単位に剪去する。また、樹上に雪が積もりにくくなるように、徒長枝は剪去し、切り口に塗布剤を塗る。裂開の生じている樹は、カスガイやボルトで補強する。
- (4) 融雪促進剤は事前に園地に運搬しておく。2月上旬以降、晴天が数日続く日を選んで散布する。

2 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスの倒壊や資材の破損を防ぐため、ハウス資材の破れや隙間の点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) 冬期間利用しない場合は、倒壊を防ぐためビニールをはいでおく。

3 畜産

- (1) ロールベールサイレージはストレッチフィルムの破損を防ぐため、シート等で覆う。
- (2) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

【事後対策】

1 りんご等果樹

- (1) 大雪の際は、まだ雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしや雪に埋もれた枝先を抜き上げる。
- (2) 枝が折れ、ゆ合の見込みがない（主枝が欠落又は木質部と樹皮が3分の2以上裂開）場合は剪去し、切り口に塗布剤を塗る。
- (3) ゆ合が可能な場合は、普通台樹では傷口を密着させて、カスガイやボルト等で補強し支柱で支える。わい性台樹ではビニールなどできつく縛って密着させ、ひもなどで吊り上げる。

2 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスに積もった雪は早めに下ろす。また、ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。
- (2) ハウス周辺の除排雪を速やかに行う。
- (3) ハウスが破損した場合は、速やかに補修し保温に努める。

3 畜産

- (1) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (2) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘 (野菜・花き)【発行元】 農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 三村 葉子
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5146 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕 (内線: 4966) 次長 栗林 豊 (内線: 4967)

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」
に掲載



農ナビ青森 QRコード